

MBTコンソーシアム宣言

Medicine-Based Town [医学を基礎とするまちづくり]

私たちMBTコンソーシアム参加企業・団体は、お互いの信頼のもと力を合わせて、医学に基づいた、少子高齢社会のためのまちづくり、産業創生、地方創生を通じて社会に貢献します。

平成29年9月26日宣言 一般社団法人 MBTコンソーシアム 参加企業・団体一同

▶ 参加企業・団体一覧 [掲載を同意いただきました企業・団体のみ掲載しております]

株式会社 iTest
株式会社アズマ
有限会社アパックス
株式会社池利
株式会社イマナカ
株式会社イムラ
株式会社インデックス コンサルティング
株式会社エクスレイヤー
株式会社NTTデータ経営研究所
MS&AD基礎研究所株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社岡伸
株式会社奥村組
楽研株式会社
関西電力株式会社
株式会社関電エネルギーソリューション
北関東総合警備保障株式会社
キリン株式会社

近鉄ケーブルネットワーク株式会社
株式会社グランソール免疫研究所
KDDI株式会社
KTX株式会社
株式会社健康都市デザイン研究所
一般財団法人 弘済会
小山株式会社
株式会社崎山組
佐藤薬品工業株式会社
株式会社三技協
株式会社産業経済新聞社 大阪本社
株式会社サンロード
三和澱粉工業株式会社
JSR株式会社
株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
株式会社資生堂
シャープ株式会社
昭和西川株式会社

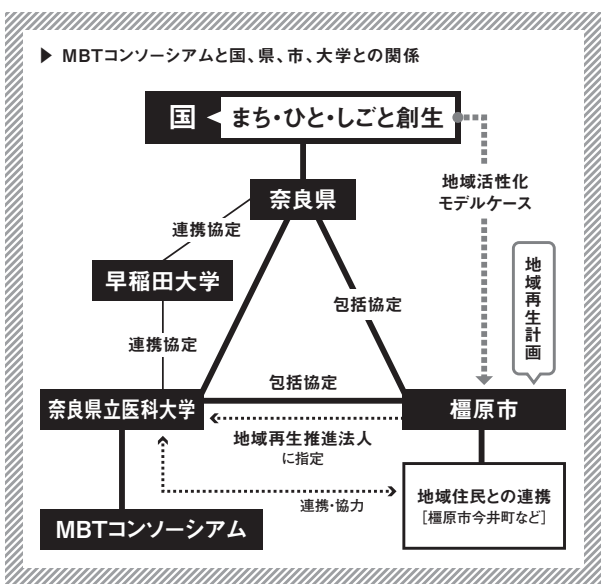
株式会社新生
積水ハウス株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
大和ガス株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社タカゾノテクノロジー
株式会社タカトリ
株式会社ツムラ
株式会社テクリコ
テルモ株式会社
東京急行電鉄株式会社 東急病院
株式会社ドクターネット
凸版印刷株式会社
公立大学法人 奈良県立医科大学
奈良精工株式会社
株式会社南都銀行
医療法人 西井会
医療法人 康仁会 西の京病院

日本生命保険相互会社
日本タクティールタッチ協会
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本無線株式会社
日本ユニシス株式会社
ニューロンネットワーク株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社ひばりラボ
ヴァイタル・インフォメーション株式会社
不二精機株式会社
富士通株式会社
株式会社プチファーマシスト
船井電機株式会社
株式会社プロアシスト
プロライト株式会社
ヘルスグリッド株式会社
ホシデン株式会社
株式会社本田技術研究所

松田電気工業株式会社
まつのえ株式会社
丸一鋼管株式会社
株式会社みずほ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社村田製作所
明豊ファシリティアークス株式会社
メディケア・リンク株式会社
モード・ユニット工房株式会社
ヤマト運輸株式会社
ユアサM&B株式会社
医療法人 友誼会 奈良友誼会病院
ユニオンツール株式会社
株式会社ライフビジネスウェザー
ロート製薬株式会社
ワタキューセイモア株式会社

(五十音順 / 平成30年1月現在)

私たちと一緒に社会貢献にチャレンジしませんか！



私は15年前にMBTの前身となる「住居医学」を発想しました。通常は医学と直接関係がない住居や家具のあり方を医学的にとらえることで、より健康に過ごせる生活様式への転換を促しているというものです。いわゆるバリアフリー・住宅と異なる考えで、若い頃から高齢に至るまで、長く健康を維持するために、医学の知識を生かしていく発想です。

耳鼻科の専門医として、音響機器や携帯電話メーカーの担当者

正しい医学の知識
住居医学からMBTへ

日本が取り組まなくてはならない大きな課題は、超高齢化への対応と新しい産業の創生、それによる地域の活性化です。すでに様々なアプローチがなされ、具体化しているケースも少なくありませんが、将来への不安を完全にクリアするところまでには届いていないようです。奈良県立医科大学が取り組むMBTは、医学の知識や情報を活用して、新しい視点からの産業創生、まちづくりを進めようというものです。

私は15年前にMBTの前身となる「住居医学」を発想しました。通常は医学と直接関係がない住居や家具のあり方を医学的にとらえることで、より健康に過ごせる生活様式への転換を促しているというものです。いわゆるバリアフリー・住宅と異なる考えで、若い頃から高齢に至るまで、長く健康を維持するために、医学の知識を生かしていく発想です。

耳鼻科の専門医として、音響機器や携帯電話メーカーの担当者

TOP INTERVIEW 理事長インタビュー

医学の力で新たな産業の創造を目指す 社会に貢献する枠組み不可欠

奈良県立医科大学は、医学を基礎とするまちづくり、MBT (Medicine-Based Town) 構想に取り組んでいる。正しい医学の知識を生かして、超高齢社会に対応し、さらに産業創出による地域活性化などにもつなげようという意欲的なプロジェクトだ。MBTの根幹をなす理念や将来のビジョンなどについて、細井裕司理事長・学長に聞いた。

に、アドバイスを求められることがありました。確かに、工学的にはよく考えられているのですが、医学の立場からすると、人の聴覚に関する基本的な理解がなく、工学的には良くて、医学的には正しくないということが多くありました。もっと早い製品開発の段階から医師が関与していたら、より迅速に医学的に正しい製品が世の中に出たと思います。

最大化する事ができるはずですが、医学の力で広く社会に貢献する、これがMBTの根本的な発想です。

そのカギになるのが、産業界との連携だと思えます。医師は膨大な知識を持って治療を行っていますが、この膨大な知識を患者さんのためだけに残す、新製品や新システムの開発に携わることによって、より広く社会に貢献できると思っています。

医学的知識を企業の技術者らに提供する事で、医学的に正しい新ビジネスを創出する。目の前の患者さんにも真剣に向き合う姿勢は崩さず、もっと視野を広げて、社会に貢献していきたいのです。

協働体制を確立し 人材の力を生かす 社会的責任を負う

もちろん、非医療の分野だけでなく医療の分野にも医学知識を提供します。あらゆるものがネットにつながるIoTや人工知能(AI)を活用し、妊産婦の見守りシステムの実証実験を進めています。また、バイオセンサーなどを組み込んだ着衣や腕時計などにより、データに基づく健康管理サービスなどの開発も進めています。これらの成果をまちづくりに結集させたいと考えています。

産業界と工学の連携は密接です

最大化する事ができるはずですが、医学の力で広く社会に貢献する、これがMBTの根本的な発想です。

そのカギになるのが、産業界との連携だと思えます。医師は膨大な知識を持って治療を行っていますが、この膨大な知識を患者さんのためだけに残す、新製品や新システムの開発に携わることによって、より広く社会に貢献できると思っています。

医学的知識を企業の技術者らに提供する事で、医学的に正しい新ビジネスを創出する。目の前の患者さんにも真剣に向き合う姿勢は崩さず、もっと視野を広げて、社会に貢献していきたいのです。



奈良県立医科大学 理事長・学長
細井 裕司
Hiroshi Hosoi

1948年、大阪府生まれ。奈良県立医科大学卒業。近畿大学医学部助教授などを経て99年、奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座教授。同大学付属病院副院長、理事を経て2014年から現職。専門は耳鼻咽喉科学、特に聴覚医学、新聴覚(超音波や軟骨伝導聴覚)、耳科手術、ならびに住居医学。

MBT Planning
MBTコンソーシアム

奈良県立医科大学
Nara Medical University

企画・制作= 日本経済新聞社クロスメディア営業局
広告

[問い合わせ・コンソーシアムへの参加申込は] 一般社団法人 MBTコンソーシアム 事務局 〒634-8521 奈良県福原市四条町840番地 奈良県立医科大学 研究推進課内 TEL 0744-29-8853 Mail mbt@mbt.or.jp http://mbt.or.jp/